

# どうも新聞

どうも新聞は公益財団法人さんりく基金の助成金により作られています。

## どうもが試行開始から一年

昨年の9月2日に試行を開始し先月で1年になりました。まさに9人での試行錯誤から1年が経ち、会員数は70名弱にまでなりました。先月末現在で発行枚数が1265枚、回収枚数が1046枚、回収率約83%です。その間各フォーラムへの参加や各種視察、どうもカフェの開設などの事業を行ってまいりました。(どうも一年間の歩みを参照)

平田第5・第6仮設住宅から始まった助け合いの輪は今、他の地域へ広がりがつつあります。今後も助け合いのあるま

## どうも一年間の歩み

- 平成25年9月 試行を開始
- 10月 地域包括ケアのあるま
- ちづくり会議参加
- 平成26年2月 神戸視察
- 2月 さわやか福祉財団交流
- 総会参加
- 3月 新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム
- 3月 地域通貨フォーラム
- 4月 どうもカフェオープン
- 5月 大槌まちづくりフォーラム参加
- 6月 どうもを楽しく学ぶ会開催
- 7月 2024共生フォーラム
- 8月 釜石よいさに参加



ちづくりを実現するためさまざまな事業を行ってまいりたいと思います。これからも平田どうもの会をよろしくお願ひします。

## 佐々木食堂が加盟店に

先月から平田パーク商店街の佐々木食堂さんが加盟店になりました。どうも券1枚でおいしいラーメンを食べられます。



## 平田どうもの会

### 世話人名簿

- 世話人
- 第5仮設 阿部 富雄さん
- 山崎 泉さん
- 尾形 京子さん
- 阿部 益子さん
- 中嶋 安夫さん
- 中嶋 秀子さん
- 猪又 マサさん
- 伊藤 重雄さん
- 金野 義男さん
- 佐々木真吾さん
- 地域リーダー
- 第1・第2仮設・復興住宅 山口 和子さん

## 編集後記

どうも試行から一年、気軽に引き受けた事務局もいつの間にか3人の大所帯となり事務所を構えるまでになりました。この一年間ご協力を賜りました会員、平田第5・第6仮設の皆様方、平田パーク商店街、公益財団法人さわやか福祉財団並びにさわやかインストラクター北海道ブロック、釜石市他関係各位の皆様方、全国からご寄付を頂いた方、ご協力を賜り誠にありがとうございました。まづもって御礼申し上げます。

また、釜石復興応援地域通貨「どうも」を活用した助け合いによるまちづくりを釜石全市に広めてまいりたいと思っております。今後ともご支援賜りますようよろしくお願ひします。

## 事務局

岩手県釜石市平田五・八四・五  
平田パーク商店街A棟一〇四  
電話〇一九三・二六・五五〇八